

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 MUTOHホールディングス株式会社  
 コード番号 7999 URL <http://www.mutoh-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部 部長  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 早川 信正  
 (氏名) 阿部 利彦

TEL 03-5740-8700

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	10,579	△7.3	463	△40.2	680	23.0	△297	—
23年3月期第2四半期	11,417	8.6	775	—	553	—	545	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △847百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 22百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△6.47	—
23年3月期第2四半期	11.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	27,898	18,462	63.9
23年3月期	28,462	19,459	66.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 17,826百万円 23年3月期 18,821百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,500	2.6	1,250	4.0	1,600	66.3	1,100	37.5	23.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は【添付資料】3ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	54,818,180 株	23年3月期	54,818,180 株
24年3月期2Q	8,854,511 株	23年3月期	8,846,541 株
24年3月期2Q	45,967,517 株	23年3月期2Q	46,003,151 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、連結業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、ギリシャの財政危機に端を発した欧州の信用不安問題が深刻化し、金融機関への影響も懸念されるなど、先行きに対する警戒感が更に高まる中、米国においても個人消費の減少や厳しい雇用情勢など依然として景気は低迷しております。また、成長ペースは緩やかながらも中国を中心として堅調に推移しているアジア地域でも、タイにおける自然災害の影響は製造業に大きな打撃を与えております。

我が国経済においては、東日本大震災からの復興に伴う需要の持ち直しなど回復傾向は見られながらも、長引く円高により企業収益の減少、企業マインドの悪化など、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、主力事業である情報画像関連機器事業において、サイン市場におけるミドルレンジモデルの新しい世界戦略機として、従来機種に比べ作画速度を最大約30%向上させた大判インクジェットプリンタ「VJ-1624」（バリュージェット-1624）を年度前半に投入し、加えて後半においては上位機種となる新型ヘッドを千鳥に2個配列し、プリントヘッド1走査当りの作画幅を増やすことにより、より高速な作画速度を実現した「VJ-1638」を投入いたしました。

また、その他の事業においては、LED関連商品の販売強化に努め、製造工程における目視検査用LEDライトテーブル「LitaVi（リタヴィ）」を発売し、運動用補助品では自社ブランド「Finoa（フィノア）」の積極的な展開を図り、新たにカラーテーピング「サッカー日本代表チームバージョン」を発売するなど、新たな柱となる事業の創造を図っております。

なお、第1四半期連結会計期間より持分法適用関連会社となった株式会社セコニックについて、事業基盤の強化と事業拡大を図り、当社との連携をより強固なものとするため、平成23年10月24日に第三者割当増資1,000,000株を引受けております。

経営成績では、政府・日銀による為替介入の効果も限定的にとどまる中、有効な政策が行われぬまま継続する急激な為替の円高進行の影響に加えて、依然として本格的な回復に至らない世界的な景気の低迷の影響を総じて受けることとなりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高105億79百万円（前年同期比7.3%減）となり、営業利益4億63百万円（前年同期比40.2%減）となりました。また、経常利益においては、急激な為替の円高により為替差損の計上はあったものの、第1四半期会計期間より新たに株式会社セコニックが持分法適用関連会社となったことに伴う負ののれん発生益を持分法による投資利益として営業外収益に計上したことにより、経常利益6億80百万円（前年同期比23.0%増）となりました。また、特別損失として、ムトーベルギー社の開発・製造関連部門の集約に伴う特別退職金の発生、たな卸資産の評価損等を計上したことから、四半期純損失2億97百万円（前年同期は5億45百万の利益）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、278億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億63百万円の減少となりました。

流動資産は165億30百万円となり、7億45百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の減少3億50百万円、受取手形及び売掛金の減少45百万円、たな卸資産の減少4億2百万円等であります。

固定資産は113億67百万円となり、1億81百万円の増加となりました。その主な要因は、減価償却による有形固定資産の減少2億65百万円、投資有価証券の増加5億35百万円等であります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、94億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億33百万円の増加となりました。

流動負債は59億79百万円となり、9億87百万円の増加となりました。その主な要因は、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金の返済による減少1億3百万円、未払法人税等の減少1億79百万円等と、支払手形及び買掛金の増加3億51百万円、未払金の増加9億14百万円等であります。

固定負債は34億56百万円となり、5億54百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による減少2億45百万円、テナント退去に伴う預り保証金の取崩し等によるその他固定負債の減少3億68百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、184億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億97百万円の減少となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上による2億97百万円の減少と、為替換算調整勘定の減少5億7百万円等であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、継続する世界的な景気の低迷に加え、ギリシャ問題が世界経済におけるリスクとして顕在化、タイにおける自然災害など今後の世界経済の先行きに対する警戒感が高まりました。

また、当社においては旧本社ビルにおけるテナント退去に伴い、平成23年12月26日を予定として管理コストの削減を目的に本社機能を東京都品川区から東京都世田谷区へ移転することといたしました。

このような情勢下において、当社グループの経営成績は、売上高・営業利益および経常利益では、アジア地域においては当初計画を上回る勢いを示しておりますが、欧米地域における円高による影響が大きく前回予想値を下回りました。さらに、ムトーベルギー社における開発・製造関連部門の集約に伴う特別損失の計上等により四半期純利益は前回予想を下回りました。

通期業績においては、政府・日銀による為替介入効果も限定的な影響にとどまる中、有効な対策が見出せない状況にある円高進行は当面は継続されることが見込まれ、ギリシャ問題は世界的経済不況に発展するリスクとして予断を許さない状況であります。このような情勢下において、当社グループにおいては不動産賃貸の一部テナントの退去による収益の低下や、ムトーベルギー社における開発・製造関連部門の集約の進捗状況等、不安定な要素が多いため、現時点では合理的に業績を予想することが難しくなっております。従いまして通期業績予想につきましては、現在算定中のため今後明確になり次第速やかに開示いたします。

なお、業績予想に関する記載は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,601,296	7,250,601
受取手形及び売掛金	4,300,916	4,255,553
商品及び製品	2,447,807	2,284,615
仕掛品	257,379	188,813
原材料及び貯蔵品	1,974,022	1,802,967
繰延税金資産	376,453	365,808
その他	409,951	486,812
貸倒引当金	△91,735	△104,794
流動資産合計	17,276,091	16,530,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,406,550	3,209,606
機械装置及び運搬具（純額）	144,776	112,366
工具、器具及び備品（純額）	124,774	102,056
土地	5,063,945	5,049,271
リース資産（純額）	68,953	69,984
建設仮勘定	570	1,134
有形固定資産合計	8,809,570	8,544,420
無形固定資産		
のれん	469,620	388,003
その他	131,185	138,786
無形固定資産合計	600,806	526,790
投資その他の資産		
投資有価証券	979,218	1,514,240
差入保証金	222,460	227,071
繰延税金資産	567,027	548,566
その他	18,338	23,243
貸倒引当金	△11,320	△16,426
投資その他の資産合計	1,775,725	2,296,695
固定資産合計	11,186,102	11,367,905
資産合計	28,462,194	27,898,284

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,900,957	3,252,603
短期借入金	53,476	—
1年内返済予定の長期借入金	50,074	—
未払金	306,825	1,221,362
未払法人税等	264,663	85,631
賞与引当金	93,872	85,824
製品保証引当金	294,053	267,884
繰延税金負債	415	281
その他	1,026,885	1,065,624
流動負債合計	4,991,224	5,979,212
固定負債		
長期借入金	245,470	—
繰延税金負債	107,925	64,284
退職給付引当金	2,966,896	3,066,027
役員退職慰労引当金	27,498	31,471
その他	663,760	295,091
固定負債合計	4,011,552	3,456,874
負債合計	9,002,776	9,436,086
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,199,013	10,199,013
資本剰余金	4,182,029	4,181,922
利益剰余金	8,862,106	8,426,709
自己株式	△2,312,234	△2,313,489
株主資本合計	20,930,915	20,494,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	39,478	△11,774
為替換算調整勘定	△2,148,749	△2,656,108
その他の包括利益累計額合計	△2,109,270	△2,667,883
少数株主持分	637,772	635,924
純資産合計	19,459,417	18,462,197
負債純資産合計	28,462,194	27,898,284

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	11,417,614	10,579,311
売上原価	7,438,112	6,919,369
売上総利益	3,979,502	3,659,941
販売費及び一般管理費	3,204,162	3,196,111
営業利益	775,339	463,829
営業外収益		
受取利息	7,748	15,721
受取配当金	8,388	9,053
持分法による投資利益	—	617,148
助成金収入	4,972	—
投資有価証券割当益	25,480	—
その他	13,276	7,074
営業外収益合計	59,866	648,998
営業外費用		
支払利息	7,531	5,734
為替差損	265,350	420,013
売上割引	3,840	3,413
その他	4,954	3,070
営業外費用合計	281,676	432,230
経常利益	553,529	680,597
特別利益		
固定資産売却益	599	187
投資有価証券売却益	110	508
貸倒引当金戻入額	23	—
役員退職慰労引当金戻入額	4,075	—
賞与引当金戻入額	40,076	—
製品保証引当金戻入額	130,395	—
特別利益合計	175,279	696
特別損失		
固定資産廃棄損	937	450
投資有価証券評価損	51,873	938
たな卸資産評価損	—	113,720
特別退職金	—	756,579
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19,882	—
その他	290	31,751
特別損失合計	72,983	903,440
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	655,824	△222,145
法人税、住民税及び事業税	319,261	43,586
法人税等調整額	△232,703	22,020
法人税等合計	86,558	65,606
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	569,266	△287,752
少数株主利益	23,858	9,730
四半期純利益又は四半期純損失(△)	545,408	△297,482



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	569,266	△287,752
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64,316	△43,876
為替換算調整勘定	△482,220	△503,829
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△12,515
その他の包括利益合計	△546,537	△560,221
四半期包括利益	22,729	△847,973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,614	△856,094
少数株主に係る四半期包括利益	21,115	8,120

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当社は平成23年10月7日開催の取締役会において、株式会社セコニックの第三者割当増資2,000,000株のうち、1,000,000株を引受けることを決議し、平成23年10月24日に払い込みを完了し、当該株式を取得しております。この第三者割当増資引受により、当社の株式会社セコニックに対する持分比率が増加いたしました。

これに伴い、負ののれんの発生益を持分法による投資利益として約1億80百万円を追加計上する見込みであります。